京城新報

人の一生は重荷を負ふて遠き道を行くが如し急ぐべからず

東拓營業報告要領(二)

●事業の概要● 本社創業の第一着歩は韓國政府出資の土地を受領するにあるを以て同國政府との協議に基き其の所有に係る驛屯土及宮庄土約十万町歩に就き一々之を選擇し受領することゝせり然るに此等の土地は元來宮内府の所管なりしも昨年國有財産整理の結果度支部に引繼かれたるものにして爾來日尚淺く未だ充分整理せざるものなり加之其種類數多に分れ管理の方法一ならず殊に各道各郡に跨り地質土性及水利關係の相異るは勿論其面積の單位たる斗落日耕は地方に依り廣狭ありて容易に其正確なる地積を知り難く其收穫高並に小作料の如きも千差萬別にして之が利害を究むるには非常の苦心を要するが故に先づ驛屯土及宮庄土全部の各郡反別及小作料等調査材料に資すべきものは勿論其の他各地の狀勢を稽へ其集團地にして管理に便なるもの及會社將來の事業上有利なる方面を豫選したり

▲驛屯土●引繼● 而して即今引受くべきものは出資田畑各五千七百町歩の四分の一たる田畑各一千四百二十五町歩に止れりと雖も自餘の四分の三に對しても同時に之を調査するの機宜に適するを認め且つ其の引受地を定むると共に本社將來の經營地として土地を購入するの必要あるを以て其の候補地等の調査にも着手せり而して之が實地視察の爲め吉原副總裁は黄海道及平安道に佐藤部長は全羅道に出張し其他京釜沿線、晋州、羅州、金州及平壌の各方面に各々職員を出張せしめたり是等調査の結果に基き彼是利害を比較し第一回拂込に對する分として京城、釜山附近の特に有利便宜と認むる地を始め慶尚南道黄海道及平安道の中適當なる場所を指定し度支部に對して實地引渡の準備を求めたり尤も今回調査せし所に依れば畑は管理收入其他の點に於て有利なるもの少なきを以て實地引繼の場合に於ては畑の良好なるものゝ外は之を田に換算交換するの見込を以て目下交渉中に屬せり

▲驛屯土殘部の調査● 而して殘餘四分の三に對する選定は引續き調査を進めつゝあるを以て其結了後は適當なる條件の下に貸借して經營するの見込なり又韓國政府出資の土地は概して其地方に於ける良田に屬し殊に宮庄土を出資土地選擇の範圍に包含せしめたるは本社の爲めに利益頗る大なりとす

▲本社と水產業● 水產業に就ては韓國政府が漁業法を制定し各種漁業權を確認せし以來日韓漁業者は安心して其業に從ふ事を得るに至れるを以て漸次日本よりの渡來者增加するの趨勢を示せり依て本社は農商工部と交渉を重ね略は其の同意を得目下二三方面に於て漁場の出願等に關し調査中に屬す

▲漁業と拓殖移民● 漁業は本社直接經營の事業としては愼重なる調査を遂げ的確なる成算あるに非れば着手することは能はずと雖も既に適當の漁場を獲得せば漁民に對し漁業權と耕作地とを貸與し適當の保護を與へ又漁村を形成せしむるに至らば本社は相當の利益を收むる外韓國拓殖移民の目的を達すべきを信ず漁獲物販賣の如きも其の機關の聯絡統一を缺く等のために需給の關係宜きを得ず漁業者消費者相互非常の不利不便を蒙れるの現狀なるを以て本社は之れが需給の均衡を得せしむる爲め相當の方法を講じ魚村の經營と相俟ち彼我の利益を增進せん事を計らんと欲し之が調査を進捗しつゝあり又韓國に於ける農民の生活上薪炭其他の用に充る爲め多少の植樹を奬勵するの必要あり本社は將來之に要する樹苗を供給するの目的を以て樹苗地設置の必要を認めたるも時機の切迫したるため先づ農商工部所屬水原林業事務所に托して櫟種子約百石を播種せり

▲本社資金の利殖● 拓殖資金の供給に關しては本年度に於て未だ貸付事務を取扱ふの運に至らざるを以て資金全部を擧て國債證劵を買入れ又は銀行預金となし專ら利殖に力めたり

▲諸般の調査事項● 拓殖の爲たる其經營に際し豫め各方面に渉りて諸般の調査を要するものあるを以て本社は夙に調査に着手せり其既に調査を了したるものは驛屯土の沿革及現況水陸運賃及倉庫料の現況及京城に於ける薪炭蔬菜の原產地其重要種類及消費高等殖民事務中漁業移民に關する事項並に韓國通貨の變遷及其流通現況等なり尚韓國米及其他の重要農產物に關する經濟的事項韓國輸出入貿易就中米穀の輸出關係事項關稅事項及交通運輸水產業及鑛業の殖民事務其他經濟上一般の事項及民俗慣習調度等に關し目下調査中なるも其要するに本年度は營業日數僅に百日に充たずして諸制度創設の時代に屬し專ら調査計畫の要を得るに努めたり幸に之が豫定の進行を見るを得たるにより次年度に於ても愼重に調査を續行し堅實なる發達を圖り本社目的の遂行に副はんことを期す

文苑

○弓術の研究　蕭雨

病後の營養を求むべく、山に川に跡を曳くのが吾輩の日課である、去れど狎れては綠なす山の色も潺湲たる清き水も更に珍とせざるに至つた、處が近來弓術の研究が非常に流行せるを聞き友に引き出されて龍山十五間道路の或る大弓場に往つた、勿論我輩は素人で弓持つ術も知らぬ、白髯長く垂れた會長某は日置流の蘊奥を究めた人の由、就て其の型を學ぶ、熱心にして懇篤なる教授に依り漸く一本二本の矢を放つことゝなつた、試みに行つて見玉へ、押手をグッと延ばして掛手を耳の後に引き付けて曳ッと放つ、ピユーンと羽響して鳴と黒星に的中した時の愉快さは他に比す可きものがない武士道の本義、体育の發達、男子としての遊びにコンナ淸らかな經濟的なものは他にあるまい、殊に相手なしで行れるのだから自分の氣まゝになる、吾儕は友人の厚意に依つて新たに趣味を求めたることを謝すのである。



佐倉宗吾

(八十八)　眞龍齋貞水講演

此時宗平喜六の二人が「御父様、また留守成りますか」と別れを惜む、妻のれ美禰は乳飲子を抱いたまゝ、泣崩れて居ります其有様を見たる宗五は「ア、斯りや、どんだ事をした、一その事、甚兵衛に金を預けて、言傳をしたならば、斯うした嘆きは見もすまい、愁ひ甚兵衛が情けで、封印ついた棒杭を切つて此宗五を渡してくれたるに依つて、愁ひ妻子や老母に別れを告げ度、歸つて見れば此有様、何と致して宜からう」と有繋の宗五郎、瞼に止め兼ねてハラ〳〵ツと涙を流す　母「ア、もう爾うやつてゐる内に若しきうでもない、村廻りの役人にでも見付けられては成りませぬに依つて、希ぞ早う支度をして、往つて下さい　宗「左様なれば御老母様、仰せの如く是から、江戸表へ參り御直訴を致して此宗五は生命を捨てます覺悟、希ぞ不幸の罪は御赦しを……斯りやれ美禰　美「ハイ　宗「定めし御母さんを抱へ此子供等の始末には雨も骨も折れやうが何分とも頼みます　美「ハイ、希ぞ爾う云ふ思召でございますれば良人も江戸表の御首尾は大切に　宗「然らば御別れ申す　子供「御父様、もう御出になりますか」と、宗平喜六の兩人が左右から縋る　宗「コレ其處を放して下されい」宗五は右と左の袂に縋る宗平喜六の二人を振放し草鞋を穿いて然らば御免ッ」と母親妻子に生別れ「御父様アー」と聲を放つ子供を　美「コレ〳〵ッ御父様と聲を出しちや成りませぬ、大きな聲をしては成りませぬ」と母は涙を拭きながら宗平喜六を押止める宗五は雨戸を窃と開け表の容子を篤と見定め　宗「然らば御機嫌宜しう」と飛び出づる、御父様アと云ふ聲を振捨て積る雪を踏締めながら後髪を曳かるゝ思ひ宗五の後ろ姿を見送る妻のれ美禰は、二人の子供を宥め賺す、老母は此方の小窓より雪明りに透して見送つて居りましたが、後ろ姿が見えなく成ると共に、アッと計りに泣き崩れる此方は宗吾心を鬼に取り直し後をも見ずしてタッ〳〵〳〵雪を蹴立つて駈けて來る甚兵衛がさぞ待つて居る事ならんと、彼是家を離るゝこと六七丁、傍の小土手の蔭より　○「ヤイ待てッ汝は宗吾だな　宗「エーッ吃驚したッ」と振返ると印膳の喜右衛門と謂ふ目明　宗「オウ其身は喜右衛門ぢやないか　喜「何を吐かしやがる、宗吾ッ、イヤ汝はな、怜悧振りやがつて、養子の身を有ちやがつて、江戸表へ出て御門訴だの、御籠訴だのと爲やがつた、それがため皆な難義をせにや成らぬやうな事になつた、サァ佐倉城中の御役人様の命令で六人の名主の内で若しや忍んで歸りやしねかと斯うして手前の家を狙けて居たが果せるかな今夜この雪を幸ひに汝は妻子に別れを告げに來やがつたな、覺悟ウしやがれ　宗「エーコレ喜右衛門ッ此方は決して私慾のために致した譯ぢやない主も家て承知してゐる通り佐倉城附六万石の御領分の百姓が年二割增の御運上より一同が路頭に迷ふの難儀其難義を救うがため、江戸表へ對しての此御籠訴、希で私を見遁してくれ　喜「イエッ何を吐かしやがる」と云ひながら突如　喜「御用だッ、神妙にしろッ」と飛蒐る宗吾は喜右衛門を向うへ突退ける　喜「何をしやがる此野郎、奴は何だな、此喜右衛門に手向へしやうと云ふのか、生意氣な事をしやがる……御用だッ……エー何人か來てくれねー」宗吾が今立戻つて、又江戸へ往つて御門訴をしやうと云ふんだ、何人か來てくれねー、宗吾だアー」と一生懸命に組付く其内に宗吾の手を把つて組伏せる宗吾は　宗「汝ッ、何邪をするッ」と跳返さうとする、上になり下に成つての騒ぎ。



韓人窮迫

京城新報

韓國經濟狀態の窮迫に就ては余輩の屢々當局者に向て警告したる所也、然るに當局者に於ては今尚ほ之に對して特種の救濟を施行するに至らず、韓國人民の窮迫は益々甚だしく其慘狀は實に見るに忍びざるものあり帝國の保護政治の下に斯る現象を呈出せしむるは決して面目ありと云ふ可らず、當該政廳たるもの一日と雖も等閑に看過すべき事ならんや。

抑も韓國の經濟が斯る惡狀態に沈陷するに至りし原因は種々あるべしと雖も、其根本に舊組織破壞せられて適當なる新組織の建設せられざるに歸因せずんばあらず、何れの邦國に於ても新舊過渡の時代に於て斯る事は多少免れずと雖も、政治家たるものは之に應じ豫め大恐慌の來らざるべき政策を施行せざる可らず、然るに伊藤公が統監として保護統治の任に當るや、一意日本の外形的文明を移し輪廓の美のみ飾りて、之に依りて起り來るべき經濟狀態の趨潮に對する所謂社會政策を遺却したる傾きあり、此社會政策を遺却したる結果が今日の如き惡狀態を出現せしむるに至りし也。

現時世界の大勢を見るに何れの國と雖も政治家の最も苦慮するものは社會問題也、文明國と稱し社會の秩序備はれりとする邦國に於ても社會政策は最も重要として研究せられつゝあり、要するに善政と云ひ惡政と云ふも畢竟社會政策の宜しきを得ると得ざるとにある也、現今に於ける韓國の如き社會組織の著しき更革をなす場合には何事を措ても社會政策に意を用ひざる可らず、然るに伊藤公の玄關式華麗政策は此重要の點に意を注ぐこと些か少し爲に今日の如く社會組織に缺陷を生じたりとするも決して酷評と云ふべからず、果して社會政策に注意を拂ふことの鮮少なりし爲に現在の結果を見るに至りしとすれば、之が救濟に對する政策も自ら會得せらるべきは勿論なりとす

然らば如何にして救濟すべきか、漢城商業會議所は政府に向て二百萬圓を借らんことを請願せりと云ふ、如斯は一時の救濟策にして之を以て全然現狀態を回復すべきものに非ず、唯講すべきは如何にして健全なる新組織を與ふべきかにあり、聞く所に依れば當局者に於ても既に研究中にありと、然れども調査も研究も餘りに延引するに於ては韓國を枯魚の市に問ふが如き現象を呈するに至らむ、如何に韓人等をして保護政治を謳歌せしめんとするに努るも、常に空腹を感ぜしむるに於ては謳歌せざるのみならず、却て保護政治を呪咀するに至るべし良好なる社會政策は保護政治を完成するの要義也、當局者は速に之に對するの政策を決定して韓人等に據る所を知らしめざる可らず之れ保護政治に於ける最も重要の問題也

東京電報

▲**經理學校臨幸** 天皇陛下には本日陸軍經理學校に御臨幸遊ばされたり

▲**高商授業開始** 高等商業學校は本日より無事授業を開始す(以上二十四日發)

▲**統監交迭と府員** 伊藤統監辭任し曾禰子昇任するに就き目下曾禰子と好からざる統監府の勅奏任官等は既に辭意を決したるも曾禰子は伊藤公に對する義理合上之を慰撫するの方針を採り居れり

▲**伊藤公の渡韓** 伊藤統監は當分此の儘に進行すべしとは掛冠後韓國皇帝に告別の爲め渡韓すべしとの說あるも公の事は韓皇の信任を保留する爲めならんと

▲**東拓利益分配** 昨日の東拓總會に於て決定したる利益金の分配內容は當期利益金は合計十五萬二千二百二十一圓にして內一萬二千二百圓は缺損補塡準備金、金三千百圓は配當平均準備金、金八千圓は役員賞與金及交際費、金二万六千六百圓は今季配當金一株に付十九錢(年六分強) 金十萬二千三百二十一圓は後期繰越金とし第一回韓國政府出資額七十五萬圓に對しては配當せず

▲**高商學生復校** 過日來紛擾を極め全學生排斥にて退學したる高等商業學校生徒は父兄及保證人等の斡旋に依り無條件にて復校する事となれり(以上二十三日午后發)

▲**曾禰子昇任期** 曾禰子の親任式は三十日頃なるべしと

▲**無條件引受說** 曾禰子の昇任と共に統監府官制には何等の變動なく無條件にて引受ることゝなるべしと

▲**伊公大師辭任** 伊藤公は太子大師の職を辭すべしと(以上二十四日夕發)

外報一束

●**猶太人の暴動** 紐育市イーストサイドに住する猶太人は遂に暴動を起して烈しくパン商店を攻擊せり多數の巡查隊を此方面に集中するにあらずんば秩序の恢復望み難しと

●**兩敗將の特赦** 露國敗將ステツセル將軍及びネボガトフ提督は今回露帝の勅命により特赦せられたり、兩人共久しく要塞內に禁錮せられしため痛く其健康を損じ居れりと

●**小說家の葬儀** 英國大小說家故ジョージ、メレヂース氏の葬儀は二十二日を以て執行せられたる由

●**勞働者年金案** 佛國上院は重要なる勞働者年金案を討議せんと準備中なりと

[illegible]

●**密獵者の警戒** 華盛頓政府はアラスカ海狗獵場に於ける日本密獵者が盛に出海するの爲め[illegible]絶へざるを以て之を警戒すべしとの命令を發したり

●**同盟罷業再興** 巴里市に於て郵便同盟罷業再び企てられたるも關係者は更に之に加盟せず

雜報

●**韓皇后の行啓**(順序) 既報の如く韓國皇后には水原勸業模範場に於ける養蠶視察の爲め六月一日同地に行啓せらるゝ筈なるが當日の發着時間左の如し

午前十時出門同十時三十分南大門驛發車同十一時三十七分水原驛着同十一時五十七分模範場臨御午後三時三十分同場發同三時五十分水原驛發同四時五十五分南大門驛着車順路を經て還御

●**東拓配當認可** 東洋拓殖會社は去る二十二日を以て東京に總會を開きたる事は既報の如くなるが凡て原案に可決したる由にて利益配當は一株に付十九錢(年六分強)なるが京城本社にては同日統監府へ認可の申請を爲したるところ直に許可せられたるに依り夫々株主に支拂方の通牒を發したる由仕拂期日は五月廿四日より同年七月十日までにて其の場所は第一銀行本店同大坂及京城の兩支店なりと

●**統監府官制改正** 統監府の官制は統監の交迭と共に改正せらるゝ由にて統監は從來天皇に直隸したるを今後は總理大臣に屬することゝし軍務は韓國の安寧秩序を保持する爲め必要と認むる時は韓國守備軍の司令官に對し兵力使用の命令を有したれども今後は陸軍大臣の所管に歸すべしと云ふ(京通所報)

●**日韓合同水產會社** 日韓人合同の水產會社は水產物販賣の目的を以て四万圓の資本金にて創立すべく目下農商工部へ之れが認可の申請中なるが本店を京城に置き沿岸必要の場所には出張所を設くる筈なるが要するに魚市場の如きものなりと

●**李總理と觀光團員** 李總理大臣は觀光團員一同を招待して日本觀光中に於ける各自の感想を聽取し兼て一同が歸鄕の上文物制度、殖產工業狀態を遊說することを希望する筈にて目下之れが招待準備中なりと云ふ

●**行啓と準備員先發** 別項記載の如く韓國皇后には水原勸業模範場へ行啓せらるゝに就き宮內府事務官一同之れが準備として二十四日午前九時南大門發列車にて水原へ向へり

●**製鐵所と韓國鐵鑛** 農商工部所管の鐵山より日本枝光製鐵所へ供給せし鐵鑛は一個年五萬噸なるが其の成績は頗る良好なるより製鐵所は之れに信頼するの傾向を來たし今後は一萬噸を餘分に供給する樣內定したりといふ

●**日本海々戰紀念祭** 來る廿七日は第四回日本海々戰紀念日に相當するを以て鎮海灣防備隊司令官宮岡直記氏は同日內外官民有志を鎮海灣松與に招き祝宴を催ふす筈

●**各日本人會豫算** 木浦理事廳管內に於ける各地日本人會本年度の歲出歲入豫算高は左の如し

光州日本人會五千百卅九圓七錢、榮山浦同二千八百九十九圓、濟州島同千五百十二圓十八錢、全南同七百十一圓六十錢、羅州同千五百圓、長興同八百卅二圓

●**會計練習生の卒業** 各道各警察署より選拔せられたる第三期會計練習生二十四名の卒業式は昨二十四日午前十時より警察官練習所に於て擧行せられたるが同卒業生は一兩日中に各任署へ歸任の上會計主任に任命さるべしと云ふ

●**支配人會議の結果** 農工銀行支配人會議は去る八日より二十二日迄にて終了したる事は既報の如くなるが其討議の事項として重なるものは執務內規百余ケ條と之れに關聯したる不動產の鑑定規則にして不日度支部に認可の申請を爲して之れが許可を得たる上にて七月一日より執行することになるべしと云ふ

●**鑛業所擴張着手期** 平壤鑛業所の擴張は第一着に拾萬圓の豫算を以て炭質の調査を爲し其の結果を見たる上にて資金を投じ百萬圓の大擴張を爲すべき事は既報の如くなるが右に關し平壤鑛業所は愈々炭質調査に着手する筈にてダイヤモンド付の錐二台を購買中なるが此器械の到着は七月頃なれば夫れより着手すべしと

●**東拓出張所廢止** 東洋拓殖會社にては總會準備及株券の交付其他日本政府との交涉必要上東京に出張所を設置し居たるも既に諸般の事務結了したるを以て愈々廿五日限り出張所を撤廢することに決し同所在勤中の永井調查役以下の職員は廿六日東京を出發し本月末迄に本社に着任する筈なり

●**宇佐川總裁と報告** 東洋拓殖會社宇佐川總裁は二十日午後五時より桂首相、平田內相、小松原文相、岡部法相、若槻大藏次官、澁澤男、松尾日本總裁、高橋同副總裁、添田興銀總裁、池田謙三、豐川良平、馬越恭平、大谷嘉兵衛等の諸氏を初め創立の際盡力せる人々を華族會館に招待し事業着手以後の經過並に調查中の事業方針等に關し報告を爲したりと

●**司法官會議開會** 既報の如く司法官會議は昨二十四日より法部に於て開會されたるが出席者は各控訴院長及同檢事長、各地方裁判所長及同檢事長、典獄[illegible]總數二十二名[illegible]午前九時法部に參集して各司法官及典獄[illegible]打合せを開き[illegible]本會議に移る筈[illegible]

[illegible]午後一時より[illegible]倉富次官より訓示演說[illegible]高等法院長、同檢事總長も列席すべしといふ

●**東拓社員の出發** 東拓社員は驛屯土の四分の一豫報せし如く東拓社員は驛屯土四分の一整理と四分の三調査の爲め出張する筈なりしが參事大橋重省、書記石山禎の兩氏は漢江上流に書記伊東四郎、囑託龍江義信、同喜多村辰次、同笠井建次郎の諸氏は二十四日馬山方面へ出張したる由

●**西島東拓技師出張** 東拓會社水產主任技師西島總藏氏は近日の內全羅南道及慶尙道の方面へ向け漁業調查の爲め出張すべしといふ

●**韓國視察團の組織** 同滿韓實業協會主催となり韓國視察團を組織し同協會幹事北川吉三郞氏大阪に至り梅田驛前金龍館內に取扱事務所を置き會員募集中なるが經費は力めて節約し完全なる調查研究を爲すを目的とする由團員は二十名以上五十名とし視察區域は釜山、大邱、太田、京城、龍山、仁川、開城、平壤、鎮南浦、兼二浦、黃州(以上本線)新義州、滿州安東縣、龍岩浦、三浪津、馬山浦にて會費は金六十五圓とし六月六日大阪を出發し前後十六日間の旅行なりと

漫畫募集

▲應募心得▼

一、畫題は時事問題に關する諷刺

二、畫面は四寸五分と二寸二分五厘 但竪橫自由の事

三、當選者へは本紙一個月分を進呈す

四十二年五月 京城新報社

●**各官衙の會計檢查** 度支部檢查局に於ては過般來各官衙の會計檢查を爲しつゝありたるが二十四日落合檢查課長は警視廳に出張して會計檢查をなしたりといふ

觀光團園遊會

既報の如く觀光團の園遊會は廿三日午後一時より奬忠壇に於て催されたり、日本側の來賓は石塚總務長官代理、永濱關稅局長及新聞記者通信員等、韓國側よりは李總理大臣以下各大臣其他の紳士無慮數百名先づ開會の時刻來るや閔泳韶氏は日本に於て非常の歡迎を受け感謝の念に堪へざること、太子の近狀に就ては與に日本の誠意を知りたること、太皇帝に奏上の結果日本の狀態を地方に知らしむべしとの仰せありたること、日本は東洋の平和を維持するの責任あることなれば韓國も其の幾分を負擔すべき事を述べ次で京城日報原田主筆の[illegible]「君が代」の奏樂にて我[illegible]韓國々歌の[illegible]萬歲を三唱し去れより韓國の萬歲を三唱し更に移りしが[illegible]打上げ[illegible]散會せし

●**仁川民會** 仁川第七次民會は豫報の如く本日午後七時三十分より同所樓上に於て開催せらるゝ筈

●**輕便鐵道の計畫** 釜山鎮東萊間に輕便鐵道を設けんとの議は豫て聞く所なるが愈具體的の成案出來し本年度內に之を布設し終らん設計にて目下聖知谷の新水源池に材料運搬として使用せる機關車及び三哩間の軌道を釜山民團に無代價にて下附を申請せりと

●**鯛・鯖の豐漁** 鎮海灣巨濟島附近に於ける鯛及鯖は八十八夜頃より好漁季に入り頗る豐漁なりと而して數日前より馬山に於ける鯛の市價は一貫二三圓位に暴落し釜山にては七八圓の由なるが此豐漁は尙ほ十日間以上繼續すべしと

●**京城文庫と寄贈者** 壽町の京城文庫は日増しに盛況なるが今本月四日以後同文庫に書籍を寄贈されたる氏名を揭ぐべし

▲韓國の部 京城日韓書房、同二宅貞太郎、同朝鮮雜誌社、京城日韓書籍、同韓國農商工月報社、同木村雄次、同渡邊中山滑稽新聞社、同淵上貞助、部

▲日本の部 東京淸水書店、名古屋愛知縣五二會、同農商務省鑛山局、同織田且齊、同農商務省商務陳列館、同尼ケ崎關西時報社、同尾崎兄弟飼育場、島根縣教育會雜誌社、水戶市常總新聞社、同縣立杵築中學校、同いばらき新聞社、大阪小間物商工新報社、山口縣萩町內田朴

●**淵上貞助の厄拂** 元龍山民團長淵上貞助氏は本年四十二歲となりしを以て六月一日翠樓に親戚知己を招待し厄拂ひをなすべしと

●**獨國樟腦視察員** 台灣商業會議所員ラントコン氏は二十三日日本を經て來京したるが同氏は支那、臺灣に於ける樟腦を視察すべしといふ

●**獨國將校の入京** 獨國野砲兵第十四聯隊勤務中なる獨國陸軍砲兵大尉ステツヘル氏は戰場視察の目的を以て滿韓地方旅行中の途次二十三日入京したり

●**俵學部次官の東上** 既報の如く俵學部次官は今二十五日午前九時南大門發列車にて東上せし筈なり

公人私人

▲[illegible]之助(公州地方裁判所長) 同上

▲岩田孝慈(同檢事長) 同上

▲永島巖(平壤控訴院長) 同上天眞樓

▲向井嚴(同檢事長) 同上

▲西平[illegible](海州地方裁判所長) 同上不知火

▲青木幹造(同檢事長) 同上

▲元木直一(平壤地方裁判所長) 同上

▲鈴木次郎(同檢事長) 同上

▲松村政記(晋州監獄署典獄) 典獄會議へ列するの爲め二十二日入京山本

▲諏訪善太郎(咸興同上) 同上三日月

▲山田虎一郎(公州同上) 同上不知火

▲富山要太郎(大邱同上) 同上

▲三井久(平壤同上) 同上浦尾

▲芋川正(海州同上) 同上不知火

▲高瀨[illegible](釜山副理事官) 二十三日歸任

▲山下俊治(海州農工銀行支配人) 同上歸州

▲村田重治(農商務省山林技師) 入京巴城館に投宿中の處二十三日安東縣へ

▲唐島尙(辯護士) 二十三日入京浦尾

▲井上嘉六(晋州普通學校學監) 同上東海旅館

▲大原神三(大坂鐵工所技師) 滿京中の處二十二日平壤へ

▲鳥山虎太(大邱地方裁判所長) 司法官會議に列席のため二十二日入京巴城館

▲吉田雄太郎(同檢事長) 同上

▲鈴木伍三郎(晋州地方裁判所長) 同上京城ホテル

▲關口半(同檢事長) 同上

▲土井東太郎(大邱控訴院長) 同上天眞樓

▲黑川穰(同檢事長) 同上

▲岩本勝明(咸興地方裁判所長) 同上

▲鄭津友彌(同檢事長) 同上

近事片々

▲伊公 辭任するも今一度來韓して韓皇に告別し日人官吏及大臣等に訓諭をなさんと

▲出處 進退に巧なる公としては斯くあらざる可らず兎角人間は退き際が肝要ならむ

▲如斯 形勢にて曾禰子に統監職を讓るとは矢張老公の政策方針は付纏ふて離れまじ

▲所で 新統監としての曾禰子の評判はドーモ宜しくない不適任たるの聲は益々高し

▲報知 新聞の如き全然曾禰子は統監として不適任と斷言せり果して全く不適任にや

▲世評 を概括すれば曾禰子の行爲が甚だ不謹愼なりと云ふに歸着す是が抑も輿論乎

▲曾禰 子統監たらば參與官連に大異動あるべしと東京邊に於ける觀測或は然らむ

▲參與 官連の異動は更に贅言を要せず唯望む所は活識活腕あるものを拔選すが肝要

▲若し 片々をして望ましめば此際ドレモ是も皆新規蒔き直しに一切新人物を與へよ

▲官紀 振肅官吏の矯風は統監政治發展の爲め是非決行すべし近時官吏の風紀大に亂る

▲外國 人及韓人等より見て官吏の風紀紊亂は侮蔑に價す是れ統監政治を賊する者也

▲曾禰 子統監たらば俞吉濬入閣すべしとの說韓人に嘖さる然らば金嘉老人は如何乎

▲完用 君の東方の形勢を觀望して大に意を安じ腕扼擦つて烏構整然とは何の意味乎

▲是に 反して宋秉畯は曾禰子の統監たるに大悲觀をなしつゝありとの說は異ならむ

▲此頃 來は韓人の寄るとサワると統監更迭談にて持切る而も蜚說飛語を以て充さる

▲韓國 に於ては近來外資輸入流行となり何でも彼でも外資に依らんとするは甚だ非

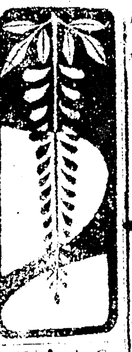
▲有利 の事業には如何に多額の外資を入るゝも可也されど見込なき外資輸入はダメ

▲露國 に於けるウヰツテの勢力近時勃興し內閣較もすれば壓迫を受くとは異ならむ

▲ウ伯 大露國主義スラブ大同盟の張本人此人の內閣とならば政策更に一變し來らむ

▲露國 敗將ステツセルチボカトフの兩人は露帝の特赦に逢ふと雖も前途如何にや

▲矢張 盛職に復すか或は山に入り世捨人となるか日本ならば先づ差詰め坊主たらむ



●京城の一朝

眠らひとする京城の景色は一度ならず見たり、さらば今は將に覺んとせる京城も見ざるべからず、廿二日の夜、松郎、酒泉二子と約して寢ぬ。目覺むれば既に四時を過ぎたりと云ふ、急がざるべからず、然るにても酒泉、松郎の二子は如何にしけん、隔たりたる室に之れを訪へば、昨宵のまゝなる釣りランプの、雨戸繰ねば薄暗きに煌々たるも懶げなり。名を呼べば酒泉子先づ驚き覺む、續いて飛び起きたる松郎子、彼方向きて頻りに犢鼻褌を檢めり、如何にかしたる、聞くに可笑しや慌てたるを以て犢鼻褌の裏を締めぬ、今は幵を改めつゝあるなりと云ふ裏表ある白の犢鼻褌、美くしからぬものゝ隨一なるべし。

兎角して出でたるは四時四十分、曉風徐ろに至つて塵未だ顯らず、長谷川町大觀亭の手前第二十七聯隊前の古道具屋の軒並びに古卓子を山と積みてあり、能く盜難に罹らぬことよと我れの呟くに酒泉子の曰く前に二十七聯隊の門衛あり横に軍司令官邸の門衛あり相呼應じて夜を警む盜んで去くことある可らず、と云はれて見れば成程網うなり、併しながら此れありとて用心せざること斯くの如くなるは宜しからず、少くとも衛兵を馬鹿にしたる所爲なりと思ひぬ。

其樣思ひつゝ長谷川町大通りを南大門大通りに出でんとす、家を出でゝ此の所まで五六町許り其間少なからぬ日本人商家の一軒も起きたるはなかりし然るに富田屋洋服店番頭なるべし廿七八なるが、茶縞の綿袷に小倉の帶、紺の前垂キチンと締めて店前の街路を掃除しつゝあるも感心なることなりと思ひつゝ直ぐに本町一丁目に入る、三巴酒店は主人を初め若い衆達、皆な起き出でゝ容器の掃除に一生懸命なり、同じ並びの後藤商店も店はカラリと開けてあるが寂然として人の影もなし。

[illegible]郵便局前打ち連れて來る韓[illegible]背負ふてあり、大根、[illegible]荷七[illegible]の數々と積みたる上に、名は何か、桃色の[illegible]せる花香けし、枝に涼しき朝露の、玉されきしがハラ〱と。二つ位ひの女の子を、未だ新らしき乳母車に、押すは其の子の母親か、廿二三の庇髪、伴れの婦人の年次の同じ程のと語らひつゝ洋傘を片手に來るがあり、美人と云ふにあらねども、色白うしてムッチりと肥ねたる頬に、何んぞも云へぬ愛嬌あり、二人揃ひの帶の色、小豆色なるも淋しげなれ太鼓に、白足袋穿いた足並も、なかなか嬉しいと、松郎君が有頂天也。本町二丁目に入る時計を見れば正五時なり（つゞく）

●刑事巡査の奮闘

◇八ヶ所の創傷を蒙る

東部警察署詰犬飼刑事は去る二十三日韓人巡査の容といへるを連れ犯人（韓人）取押への爲め楊州郡「ドーイン」と云ふ處に到りしに該犯人等の抵抗を受け身に八ヶ所の創傷を蒙り容巡査も又一ヶ所負傷せしが豪氣の犬飼刑事は奮鬪頗る努め遂に件の犯人を逮捕し本署に引致したる上自身は大韓病院に入院し目下治療中なりと

豫告

明日の紙上より各紳士の遊興振を連載すべし但し投稿を歡迎す

●悪漢の牢死

仁川及び京城にて兪[illegible]節として相應に名を賣り居たる岩本嘉吉は賭博罪にて永登浦監獄に入監中なりしが天罰の廻り來たるものか一昨日肺病にて獄死したる由なるが嘉吉と切つても切れぬ契りを結びたる一山支店の笑顏は日に泣ち每日泣き暮らし居る由

●秘苑内の鷲狩

昌德宮秘苑内なる老松に多年數百羽の鷲巣を作りつゝあるに依り十數株の數松其爲めに枯死するに至り漸次風致を害ふの虞あるを以て宮内府にては存在上銃器を使用せずして一昨二十三日鷲狩を爲したりといふ

●警察署員運動會

仁川警察署にては一昨日の日曜を卜し敷島を隔る五丁の山腹に於いて憲兵隊との聯合春季運動會を催したるが最前署員全部は松林里に集合し同所より會場迄約二哩間の徒歩競走をなしたる後會場に於いて更に徒歩競爭、射的、角力[illegible]讀技あり[illegible]頗る盛況を極め午後五時過ぎ散會したり

●荷車に轢かる

南大門外紫巖居住徐延[illegible]（三十）朴貞根（三十）の兩人は去る廿二日午後七時頃麥三俵を積みたる荷車を挽き本町七丁目を通行中誤つて同町六丁目御厨幸七長女とみ（九つ）の左足を轢き負傷せしめたる騷ぎに警官出張して兩人を南部署に連れ歸りたるが幸七より示談を遂げたれば將來を戒めて解放す

●撒水を多くせよ

昨今は風烈しくして砂塵空を捲き通行の困難一方ならざるが右は全く街路に撒水の不充分なるに依るものなるが右撒水は谷川組の受負なるも僅かなる費用を惜み加入するもの少なく爲めに同組も非常に迷惑し居れる由衛生思想に富める市民は奮て之に加入し撒水に注意ありたき者なり

●掃除車で負傷

仁川松坂町岩田次郎の長女しづ（七つ）と云ふは一昨日母に同行せられて本町三丁目を通行の際民團役所の掃除車に觸れ負傷したるが微傷なりしかば示談となる

●財布を掏らる

仁川京町一丁目川瀨かづと云ふは一昨日買物の爲め同町二丁目魚市場に至りたる途中金九十錢及認印入り財布を何物かに掏り取られたる旨警察署に屆け出づ

●山十印醤油の好評

本町一丁目三巴酒店の特約販賣に係る山十印醤油は千葉縣銚子町岩崎重次郎氏の醸造に係るものにして品質佳良容器淸潔頗る好評なりと

●佐賀縣人靑年會

在京佐賀縣人靑年會の例會は本日午後八時より本町四丁目中島德余堂書店に於て開催す

●公判だより

法務院に於ける明日の公判左の如し

一民事（午前十時）一運送賃金請求上訴人加藤藤太郎被上訴人富田鶴松二貸金上訴人尾賀正三郎被上訴人大橋濟三郎三損害賠償請求被上訴人梶原末太郎上訴人藤井濟太郎四賃掛代金請求上訴人小出茂質被上訴人荻原梅吉

一刑事（午前十時）詐欺松村佐一

●仁川花柳便り

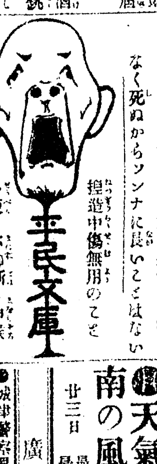
一山の本店もいよ〱歌舞伎座前の元支店跡へ引移り近日開業致すべきよし而して一山の跡へは一富士移轉の交渉中なれども引受け道具の價格今以て纏り兼ね行惱み居り候▲一富士の富美子は例の萩長さんに血道を上げて浮名を流し時々新聞種を作りつゝありしが藝妓の親切雪駄の裏と自ら心機一轉して秋田六番の紹介にて[illegible]の通前とれ安からぬ關係が出來入意のよし秋長先生之れを聞かば果して如何の妄想を浮ぶべきか[illegible]於ける萬綠叢中紅一點的の尤物なれど山口師大盤の秋田と關係が出來てから此かたの[illegible]

[illegible]坊でコチや好かんけど親父さんが電燈會社[illegible]七分だなんて云ふ人があるが僕は昨夜行つ[illegible]



自轉車大安賣

京城南大門橫 前田自轉車店



小便も亦御斷り申候

捏造中傷無用のこと

▲小僧君の忠告有難く御受しました君は第一、第二の例を引て我輩に敎へて下さつた夫れは有難い然し君、定理の逆は强ち眞でないよ、世に此樣な事を云つた洒落な人がある「人は動物なり猫も動物なり故に人間は猫なり」第二者の地位ぢやない天地に棲で居る者は直ぐ彼の明斷なる頭で第二段の說明が間違つて居る事を知るそして馬鹿と笑ふ馬鹿にされた第三者は何かやはり馬鹿らしく考へて居る樣に見へる然し之れは第二者に見へるので第三者には知れぬのである呵々（秋月生）▲オイ小僧君何か云ふことはないかね（係）▲ドレ〱成程、申すことはありません、沒交渉です（小僧）▲重要

▲尚惡し▼

罪人「いよ〱終身懲役ですか、ア、ア、長いことだ……」

判官「イサ大丈夫さ、君の身体ぢや間もなく死ぬからソンナに長いことはない」

たが淫賣婦なんか一人も居やしない知らん奴に限つて何時でも彼んなことを云ふ（見物人）▲千里眼生君僕も同感希望する所です小僧君一つ賴んで見て呉れ給へ僕からも賴むから（希望生）▲皆さん大分暑くなりましたね……（文郎）▲僕も物好きだ平民文庫で見た故早速明治町の橫丁東洋拓殖會社の隣りに一力と云ふ料理店がある成程料理は宜いが併し女中の小供は無口で丸で人形の樣だが其の婦ね株の女中のれ嬢香りは凄まじいものである腹の空つた雀の子の樣で騷々しい等分に搗き混ぜたら宜い（實見生）▲京城座前の角力はナカ〱面白い僕等には黑人よりも素人の方のが面白い、更に化粧廻しが毛布や緞通なるに至つて愈々佳、夏の夜など時々行るがよい（富子）

演藝界

▲壽座 田宮一座は連日大入を揭げ居れるが今夜の替りは前日の續き「百萬圓」は狙長吉内より大詰迄を演ずる筈

▲歌舞伎座 は伊井蓉峰一座にて廿六日初日開演二十五錢均一なりと尚ほ初日の出し物は一番目「旭俠客」二番目は喜劇「首の問違」にて配役左の如し

書生和田俊夫、堀川與三郎（伊井）家令世宮重夫（稻田）書生田山透（泉）下僕八平、堀川與二郎（原田）書生高橋進（長谷川）和田俊一（富山）公證人加藤明（大崎）書生田村濟（河合）妾繁子、女房れよし（吉田）子分定吉、道具屋吉五郎（高島）書生大月二郎、兒島男爵、仲人喜助（長木）家扶松田（久保田）新五郎妹れさく（間島）旭新五郎（靑山）兒島令息勇夫、屑買ひ多吉（秋岡）兒島夫人八重子（木下）倅與吉（靜夫）屑よりのた（た福多）

齒科診療

自午前八時至午後五時

東京齒科大學專攻 統監府囑託齒科醫

南山町巴城館隣 飯塚徹

電話千百四十番 開通

天氣豫報

（自廿四日午後六時至廿五日午後六時）

南の風曇後晴

廿三日 最高溫度 七五、七 最低溫度 五一、六 （華氏）

廣告

●城津警察署廳舍及警部官舍其他新築並同敷地地均工事

右六月十日入札ニ附ス詳細ハ六日以後ノ官報又ハ當所若クハ元山出張所ノ揭示ヲ見ヨ

建築所

●咸興警察署廳舍增築及警部官舍其他新築工事

右六月十一日入札ニ附ス詳細ハ廿六日以後ノ官報又ハ當所若クハ元山出張所ノ揭示ヲ見ヨ

建築所

●鴻山警察署廳舍及警部官舍其他新築工事

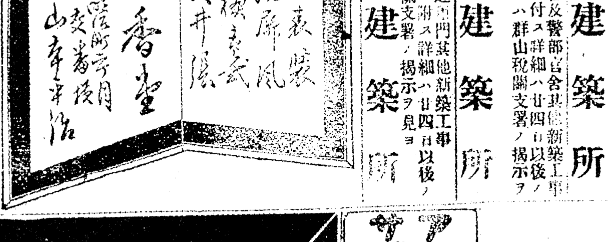
右六月八日入札ニ付ス詳細ハ廿四日以後ノ官報又ハ當所若クハ群山稅關支署ノ揭示ヲ見ヨ

建築所

●群山稅關構內通門其他新築工事

右六月九日入札ニ附ス詳細ハ廿四日以後ノ官報又ハ群山稅關支署ノ揭示ヲ見ヨ

建築所



當組合理事藤井定吉儀本月二十日京城南山町二丁目自宅ニ於テ永眠致候間此段謹告仕候

追テ本月二十五日午後三時自宅出棺南山町東本願寺ニ於テ假葬相營可申候

隆熙三年五月二十二日

漢城手形組合

漢城手形組合理事藤井定吉儀本月二十日京城南山町二丁目自宅ニ於テ永眠致候間此段辱知諸君へ謹告仕候

追テ本月二十五日午後三時自宅出棺南山町東本願寺ニ於テ假葬相營可申候

明治四十二年五月二十二日

親戚總代 相良嘉助 野村才二

友人總代 須田近思郎 淺野長七



京城理事廳認可

豫約募集

本書には統監府軍司令部師團司令部各理事廳鐵道管理局通信管理局各民團各商業會議所及び韓國政府中央地方諸官衙各國領事館職員錄を併載致候

朝鮮紳士錄

總クロース金文字入 定價一部金五圓

豫約特價前金壹部金參圓

申込締切 六月十五日

送本期日 七月十五日

登載事項 政治家、軍人、官公吏、經濟財政家、實業家、工業家、農業家、醫師、辯護士、教育家、宗教家、美術家、新聞記者、銀行、會社、學會、教會、寺院、協會、俱樂部組合

發行所 京城西小門通 京城新報社

豫約申込所

本町二丁目 日韓書房

本町二丁目 文林堂

新王城前 盛文堂

北署安洞 大韓書林

中署廣橋東邊 滙東書館

中署龍朝橋越邊 中央書館

南大門通 義生盛號

本紳士錄（交詢社式）には韓國各地在住の日韓淸英米佛獨其他紳士の全体を網羅致候へば公私實務者の坐右に欠くべからさる要書に有之候